

「2020東京大会」開催期間中＝年間最大繁忙期

「人」の流れ

目標値

企業の協力による
混雑緩和

①スライドワーク活用促進

18年4月から、社員一人ひとりが
出勤時間を選択可能

⇒出勤時間の分散、通勤負担の軽減

②テレワークテスト実施

18年7月に一部の本部勤務社員が
自宅から近い事業所で勤務する
テストを実施

19年度内に一部の本社勤務社員が
自宅で勤務するテストを実施予定
⇒本社出勤人数の分散

「人」「モノ」の動き

通常：年間最大繁忙期
＋
オリンピック



「モノ」の流れ

目標値

休日並みの
交通量の実現

①今後のイベント対応での PDCAサイクル精度向上

- ・ G20大阪サミット（6/28～29）
- ・ ラグビーワールドカップ
（9/20～11/2）
- ・ MGC(9/15)

②共配センターとのPJキックオフ

◇STEP 1：19年5月～12月

- 1) 課題・影響店舗抽出
- 2) 仮説作り（実施項目）

◇STEP 2：～20年3月

- 1) 特別コース作成、修正